

高山城(天神山城)(県指定史跡)(高山市空町)(城山公園)

高山城（たかやまじょう）は岐阜県高山市にある戦国時代から江戸時代前期の城である。

構造

標高 686.6 メートルの城山（臥牛山、巴山ともいう）に築城された平山城で、曲輪、堀、石垣、土塁などの遺構が残る。望楼型 2 重 3 階の非実戦的な天守を持つ御殿風の古い城郭形式は、織田信長が築城した安土城の影響を受けたものと見られている。

歴史

- ・ 室町時代、文安年間

飛騨守護・京極氏の被官、多賀出雲守徳言が天神山城（多賀山城）を築城。

- ・ 永正年間

高山外記が山頂部に天神山城を築城。付近を高山と呼ぶようになったというが異説もある。

- ・ 戦国時代

三木自綱が高山へ進出、飛騨を平定、松倉城を築城した。越中の佐々成政と同盟し、豊臣秀吉に対抗したことから、1585 年（天正 13 年）豊臣秀吉の命を受けた越前大野城主金森長近が三木氏を攻め、飛騨を制圧し、飛騨 3 万 3 千石の領主となる。当初、長近は鍋山城を居城としたが、1588 年（天正 16 年）天神山城跡を利用して高山城を築城。1600 年（慶長 5 年）までに本丸・二の丸を完成させ、その 3 年後までには三の丸が整備された。築城と同時に城下町の整備も進められ、高台に家臣屋敷を建設し、下段の三町を町人の町とした。そして京都に倣って東山に寺院を集めた。

- ・ 1692 年（元禄 5 年）

金森頼時の出羽国上山藩への国替えにより、高山城は加賀藩主前田綱紀が預かった。

- ・ 1695 年（元禄 8 年）

天領となったため、幕命により高山城は前田綱紀により破却される。

現在は、岐阜県高山市空町城山公園。城跡は県指定史跡であるとともに、野鳥生息地として天然記念物にも指定されている。 高山市天性寺町 62 法華寺本堂（県重文）は高山城の一郭を移築したものといわれている。

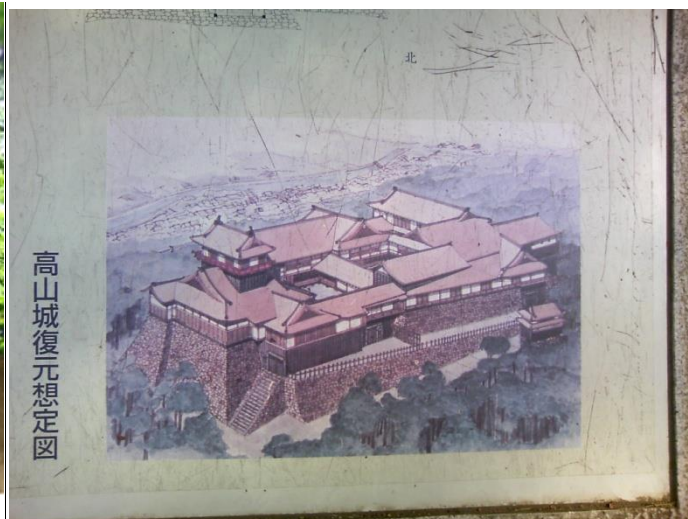
城主(金森氏)

初代：金森長近 二代：金森可重 三代：金森重頼 四代：金森頼直 五代：金森頼業 六代：金森頼時

Wikipedia による



本丸、使者の間玄関石垣



Shiroyama Park Guide

[illegible]

Vol. 10, No. 1, 1982

